

大草谷津田いきものの里 自然観察会

新緑の谷津田

岡田敬子（千葉市）

日 時：2011年5月1日（日）10:30～12:00 天候：晴れ

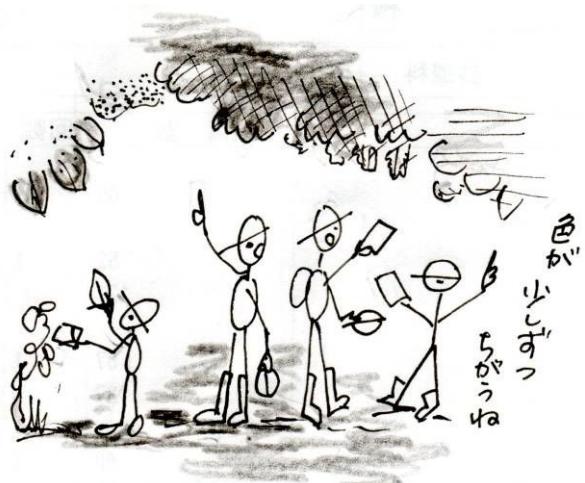
参加者：16名（大人10名、子ども6名）

担当指導員：田井中信子・岡田敬子

今年の大草谷津田は何時もより季節がゆっくり進んでいるせいか新緑がとてもきれいでした。観察路にある木や下草の葉の色や展開する前の姿に注目して観察することにした。

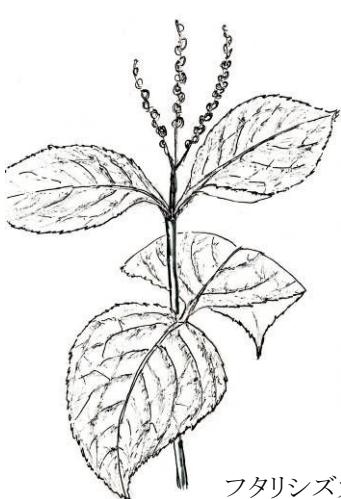
葉が開く前は中表に合わさっているスタジイ、両側から内側に巻いているゼンマイ、反対に外向きに巻いているアオキ、切れ込みの深い葉のヤツデの新芽には小さい毛がビッシリ付いている。内巻きで角の様に立っているドクダミ。同じ木でも新しく出たものと古い葉の色、形の違いを見て触って観察した。新しい芽が赤いのはなぜかと質問があり、新しい芽は紫外線に対して弱いため赤みを帯びる事によって紫外線を防御していると説明した。

次に新緑を表すと思う葉っぱを1人1枚ずつ採取してもらい、日本の伝統色の緑を表すカードを使って色合わせをした。葉っぱを採取している間に風が強くなり、色合わせに用意した模造紙に貼る事が出来ず、若芽色から若草色までの色カードと自分の持っている葉の色と合わせて順番に並んでもらった。子ども達は「若芽色だから1番前」とか「もえぎ色だから7番目」「草色は8番目」と楽しそうに列を作った。緑と言ってもいろいろな色、いろいろな表現がある事を学んだ。<日本の伝統色・大日本インキ化学使用>



谷津田風景を眺め、いろいろな緑色がある事を感じてもらい、帰りの下ノ畑では針葉樹と広葉樹・常緑樹を見上げ、森林浴をしながら入り口広場に戻った。

その他駐車場わきでカラスノエンドウとスズメノエンドウを観察。田んぼで泡の様なシュレーゲルアオガエルの卵塊、アズマヒキガエルのオタマジャクシ、林縁でホタルカズラ、ヒトリシズカ、フタリシズカを観察した。



フタリシズカ (by山岸)